

## 2024年度 東部地区例会(交流会)のご案内

今年度の東部地区例会は沼津まちなか歴史散策とビール醸造所見学&テイastingを企画しましたので、ぜひご参加ください。

＜開催要領＞ ※詳細は添付ファイルをご参照ください

◇日時:2025年3月01日(土) 16:00 ~ 19:00(交流会含む)

※集合: 16:00 沼津駅南口改札

◇企画内容:

(1) 沼津まちなか歴史散策 (別紙参照)

城岡神社～沼津城本丸跡～旧東海道～大手門跡～太鼓門跡～丸馬出門跡

(2) Masters Brewing 沼津駅前醸造所見学 <https://masters-brewing.com>

(3) 交流会 (同上2階のビアパブ) <https://masters-brewing.com/beerpub/>

◇定員: 10名程度

◇参加費用(交流会のみ): 5,500円(2時間、地ビール飲み放題)

◇CPD参加票:なし

◇申し込み方法:下記事項を明記のうえ、電子メールにて2/21金までにお申し込みください。

①氏名、②会員/非会員の区別<部門・賛助会員(団体名)・非会員(会社名)>

■お申し込み先: [ipej-shizu@ipej-shizu.sakura.ne.jp](mailto:ipej-shizu@ipej-shizu.sakura.ne.jp)

◇CPD参加票: なし

◇申し込み方法:下記事項を明記のうえ、電子メールにて1/27土までにお申し込みください。

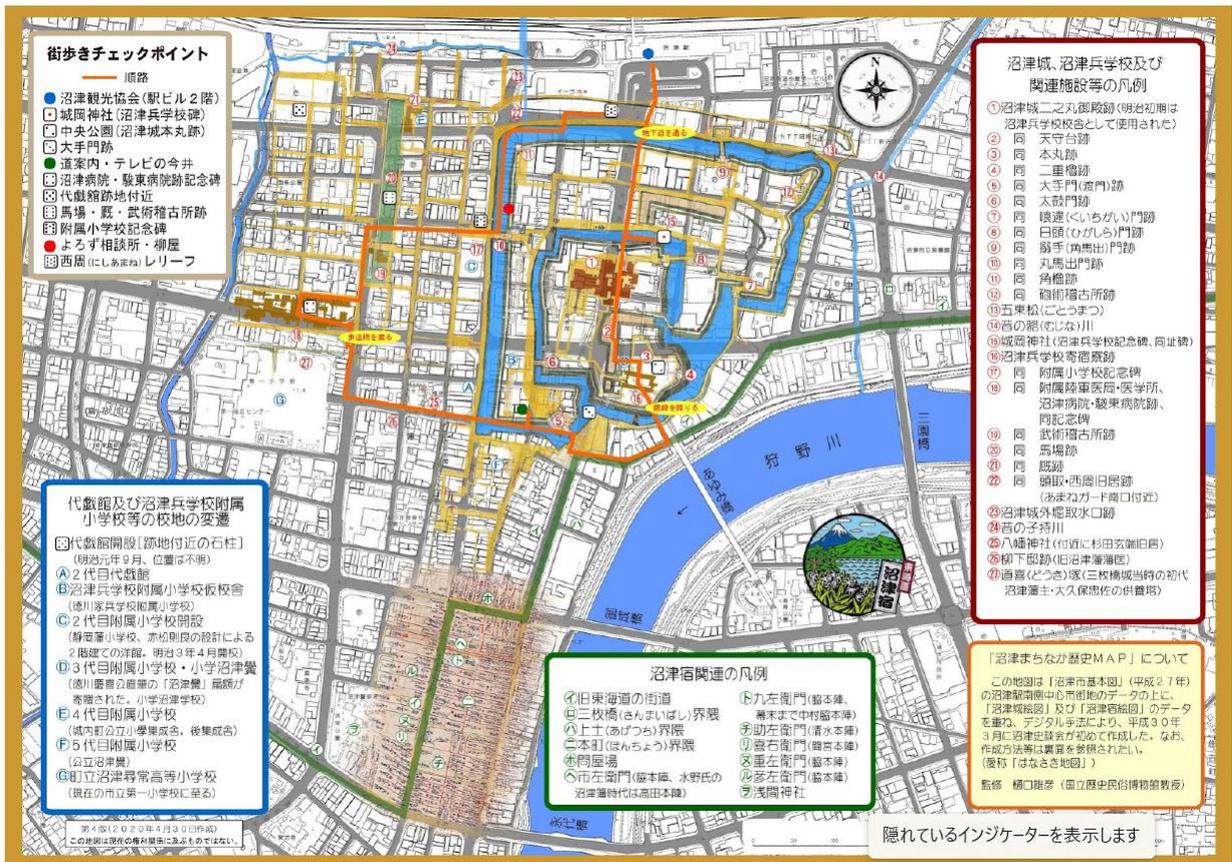
①氏名、②会員/非会員の区別<部門・賛助会員(団体名)・非会員(会社名)>

③懇親会参加の可否

■お申し込み先: [ipej-shizu@ipej-shizu.sakura.ne.jp](mailto:ipej-shizu@ipej-shizu.sakura.ne.jp)

定員になり次第締め切ります。ご了承ください。

— 以上 —



**沼津城図及び沼津まちなか歴史MAPについて**

万延元年(1860)以後沼津藩作務所によって、城郭・堀・土塀・門・本丸・二之丸・三之丸・待合堂などが、確かな位置に確認されている。本図は、昭和40年代初期に沼津藩士の子弟のちよりの沼津市に寄贈があり、沼津市立図書館蔵(現・沼津市立図書館)に移されたものである。(中略)本図には三之丸の北側に馬出門が描かれているので、万延元年以前に作成されたものと推察される。(沼津市史 別編 絵図集より抜粋)

今回「沼津まちなか歴史MAP」作成に当たっては、この絵図を市立図書館から移された市史資料館から複製の提供を受け、詳細に検討した結果、国土地理院作成の沼津市基本図との地形地勢と多くの部分で一致していることが判明した。この絵図が江戸時代末期に平面測量などを基に実施し、極めて精緻な絵図として完成させたものと推察される。

沼津まちなか歴史MAP作成に際して、沼津城外堀北側の位置に関する複数の地質調査結果を検討し、ほぼ確定することができた。

平成30年9月16日には、最初の代館館の位置を不詳とする改訂第2版を作成した。10月には、明治史料館で開館した講座において沼津城跡園を随時ながらMAP制作の検討を行い、監修者・樋口雄彦氏が沼津市長のころ在籍した市教育委員会文化歴史調査に協力して、11月、同氏が実施した文化財発掘調査の中で確認された沼津城内堀の石垣等4カ所及び外堀の石垣等5カ所の位置がMAPと一致することが判明した。

そこで新たな発見しを行い改訂第3版を作成し、「沼津兵学校記念誌」(平成31年1月発行)に掲載した。

発行：沼津郷土史研究協議会(略称：沼津史談会)  
 静岡県沼津市大手町5-8-15(朝日ビル内)より相談所  
 TEL 056-982-2311



**沼津兵学校位置図(市史資料館提供)**

大正4年(1915年)2月発行の沼津市の雑誌「沼津」第38号所載の沼津兵学校第4期卒業生・石橋綱彦が描いたと思われる図。太鼓門の西側の建物が「仮り学校」の文字があることから、明治22年ごろの城内の様子を写したものと推察される。

二之丸御殿には「旧兵学校」、本丸跡には「生徒寄書室」の文字があり、各門の位置や名称も正確である。天守台跡や角櫓跡には建物がなく、本丸跡の東側には「天守閣」の文字と建物の形が描かれているが、三層櫓があった天守台の位置とは異なる。

石橋は、沼津兵学校時代から約45年経った大正4年2月、60歳を過ぎてから初めて「沼津」の「沼津兵学校沿革(一)」のこの図を発表した。その後、大正9年まで12回にわたり、同様な論文などを掲載しており、兵学校に学び、寄与した人物が残した貴重な歴史証書となっている。

**「歴史を生かした沼津のまちづくり」のために**

武田氏が築いた三枚櫓城は、初めて沼津藩主となった大久保忠延が慶長18年(1613年)に77歳で死去し、嗣子がなかったため翌19年に取り壊された。その後、沼津は御城町の性格を強めていき、三枚櫓城から約10年が経過した安永6年(1777年)に水野忠友が沼津藩主となり、三年後の安永9年(改元して天明元年)12月には沼津城が完成した。この城は平和な時代でもあつたが、三枚櫓城の石垣の一部は現在、上土庫のホトテ(付近)に展示されており、沼津城の歴史は本丸跡の中央公園(旧本丸跡)にまで遡ることができる。

こうした歴史の記憶の上に「沼津まちなか歴史MAP」で明らかになった、沼津兵学校関連施設の史跡を加えて、市民や市議会が目で見守るようになっていくためには、案内板などの整備・充実に加え、歴史を生かしたまちづくりのための取組を進めていく必要がある。

平成30年3月31日 沼津史談会

**沼津まちなか歴史MAP**

しょう  
街歩き 仕様(標準60分コース)

※うら面の「街歩きチェックポイント」をご参照下さい

①天守台跡  
②多門跡  
(兵器庫と防壁を兼ねる)  
③現在の中央公園  
(薄緑色の部分全体)  
④二重櫓跡  
⑤沼津兵学校寄書室跡  
(位置は推定)  
※この付近に沼津兵学校の記念碑を設置する予定

**旧沼津城本丸跡**

**大手門跡**

文化財発掘調査の結果、この箇所が外堀石垣跡として確認され、南側の角から3軒目の店の入口路面が色分け表示されている。

**馬場・蔵・武術稽古所跡**

隠れているインジケータを表示します